

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	阿智村部落集会所等新改築事業補助金交付事業	担当者	協働活動推進課	協働活動係
-------	-----------------------	-----	---------	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	5. 持続可能な村、住民が主体の村／協働の推進／住民主体の協働の村
関連する主な計画等	
根拠法	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	各部落員、集会所利用者
事業開始年	H23 <input type="checkbox"/> 時期不明
事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	老朽化した部落集会所等の施設整備を促進し、コミュニティ活動の場として活用を促すため、集会所の新築、増築・改修を行なう部落等に対し、基準を定めて補助金を交付することを目的とする。					
具体的取組	部落集会所改築・新築のための補助金制度の広報をしている。また、部落集会所の改修や建て替えの相談を協働活動推進課で受付けている。					
実績・効果	27年度は大鹿部落集会所の改修を行い利用しやすくなった。また、有事の際は避難所として安全に使用できるようになった。					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	補助金	675				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	10,225	8,000	675	1,300	1,300
	うち一般財源	10,225	8,000	675	1,300	1,300
	うち補助金					
	うち個人負担					
従事職員 (人)	正規職員	1	1	1	1	1
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	老朽化している集会所がありニーズはある	A
	手段、成果は妥当か	a	補助金であり、地元部落の主体性が高まる	
	対象者の設定は妥当か	a	部落員が対象であり妥当	
	村の関与は妥当か	a	妥当	
有効性	期待された効果が得られたか	他に補助金制度も無く、住民自治の観点からは効果が得られた		A
効率性	コストの削減に努めたか	a	余地なし	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	余地なし	
公平性	受益者負担は適切か	改修事業費の1/2が部落の負担である		A
総合評価	A			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	今後人口減少により、部落集会所の新築、改修等が費用負担の面で出来ない部落がでてくるのではないかと。
今後の取り組み	修繕時期がきている部落集会所があり、今後も支援していく。